

## 平成 29 年度北秋田地域振興局鷹巣阿仁福祉環境部重点事項実施状況

【企画福祉課】

### I 高齢者を地域で支える体制づくり

高齢者を支える医療・介護・福祉の連携を強化し、顔の見える関係づくりにより、高齢になっても住み慣れた家庭や地域で安心して暮らしていくことができる地域包括ケアシステムの構築を推進します。

管内は県内で最も高齢化が進展し、今後認知症の方がますます増加することが予想されることから、認知症対策を推進し、認知症になっても安心・安全に暮らせる「あきた」を目指します。

#### 1 地域包括ケアシステムの構築の推進

医療・介護・福祉の連携促進

医療・介護・福祉連携の強化に向けた情報の共有、課題の抽出、各機関に対する提案・要望や、地域全体の取組の方向性について、協議した。

日 時 平成 28 年 9 月 21 日（水）14：00～16：00

場 所 北秋田地域振興局鷹巣阿仁福祉環境部会議室

議 題 医療・介護・福祉の連携に係る情報共有の取組について

北秋田市の地域包括ケアシステムについて

市町村における地域包括ケアシステム構築に向けた取組状況等について

高齢者施設等における看取りの推進

高齢者施設において、入所者の人生を最期まで支援する機会が増加していることから、高齢者施設における望ましい終末期ケアや看取りのあり方についての研修会を開催した。

日 時 平成 28 年 7 月 30 日（土）13：30～15：00

場 所 北秋田市交流センター

参加者 196名

講 演 「平穏死」～ 穏やかな最期を迎えるために ～

講 師 特別養護老人ホーム芦花ホーム（東京都世田谷区）

常勤医師 石 飛 幸 三 氏

## 2 認知症高齢者等にやさしいまちづくり

### 認知症サポーターの養成

認知症になっても安心して暮らせる地域づくりの推進に向け、認知症の人やその家族に対して適切に対応できるよう、サポーター養成研修を実施した。

日 時	場 所	対 象	受講者
平成 29 年 5 月 24 日 (水) 9:45~10:45	第一生命保険株式会社 鷹巣営業オフィス	社 員	18 名
平成 29 年 8 月 24 日 (木) 13:30~15:00	北秋田地域振興局 鷹巣阿仁福祉環境部	職 員	19 名



【実習生による寸劇(8.24)】

### 認知症キャラバン・メイト (※) の活動支援

認知症キャラバン・メイトの認知症に対する理解を促進し、活動の活性化を図るため、認知症キャラバン・メイト・フォローアップ研修を実施した。

日 時 平成 29 年 12 月 11 日 (月) 13:00~16:10

場 所 北秋田市民ふれあいプラザコムコム

対 象 認知症キャラバン・メイト、行政

参加者 24 名

内 容 講 演「フレイルと低栄養予防」

講 師 北秋田地域振興局鷹巣阿仁福祉環境部 技師 児玉 鉄弥

講 演「認知症を理解し、認知症の人を支援するために」

講 師 能代厚生医療センター 精神科診療部長 齋藤 英知 氏

グループワーク「認知症キャラバン・メイトの活動を実践するために」

指導者 秋田県認知症介護指導者 成田 啓悦 氏

#### ※「キャラバン・メイト」

認知症サポーターを養成する「認知症サポーター養成講座」を開催し、講師役を務めていただく人です。キャラバン・メイトになるためには所定のキャラバン・メイト研修を受講し登録する必要があります。(全国キャラバンメイト連絡協議会HPより)

(3) 認知症に対する正しい理解の促進

認知症に対する正しい知識を普及し、理解を促進することにより、認知症患者とその家族を地域ぐるみで支え、認知症になっても、住み慣れた地域で安全に安心して暮らせるまちづくりを推進するため、認知症セミナーを開催した。

日 時 平成 30 年 1 月 15 日 (月) 13 : 30 ~ 15 : 00

場 所 北秋田市民ふれあいプラザコムコム

参加者 124 名

内 容 講 演 「認知症を理解する」

講 師 秋田県立リハビリテーション・精神医療センター

秋田県認知症疾患医療センター センター長 下村 辰雄 氏

講 演 「認知症疾患医療センターの概要及び当センターの活動状況について」

講 師 秋田県立リハビリテーション・精神医療センター

秋田県認知症疾患医療センター 精神保健福祉士 船木 聡 氏

講 演 「若年性認知症支援コーディネーターについて」

講 師 秋田県立リハビリテーション・精神医療センター

秋田県認知症疾患医療センター 精神保健福祉士 戸堀 由貴子 氏



【認知症セミナー(1.15)】

【参考】管内の認知症キャラバン・メイト、サポーターの状況 (自治体型) (H29.12 月末現在)  
(全国キャラバン・メイト連絡協議会HPより)

	キャラバン ・メイト	サポーター	総人口に占める 割合 (%)	1 人 当 たり 高齢者人口
北秋田市	45	2,683	8.1	5.0
上小阿仁村	2	457	18.8	2.6
管内	47	3,140	8.9	4.7
秋田県	1,999	86,502	8.6	4.0
全国	133,872	9,133,795	7.2	3.7

※管内のキャラバン・メイト及びサポーターの総人口に占める割合は 8.9%で県平均(7.2%)を上回っている。また、1人当たり高齢者人口は 4.7人で、県平均(4.0人)及び全国平均(3.7人)を上回っている。

## II 心の健康づくり・自殺予防対策の推進

自殺者の減少に向け、市村、関係団体との連携強化を図り、地域全体で自殺予防に取り組むとともに、再発の防止に向け、未遂者及びその家族に対する相談・支援の充実に努めます。

### 1 自殺予防ネットワークの強化

#### (1) 鷹巣阿仁地域自殺予防ネットワーク会議

行政、関係機関・団体等からなる自殺予防ネットワークを構築し、連携・協力の下、地域が一体となった自殺予防対策を推進するため、ネットワーク会議を開催し、情報の共有と連携の強化を図った。

日時 平成 29 年 8 月 25 日（金）13：30～15：00

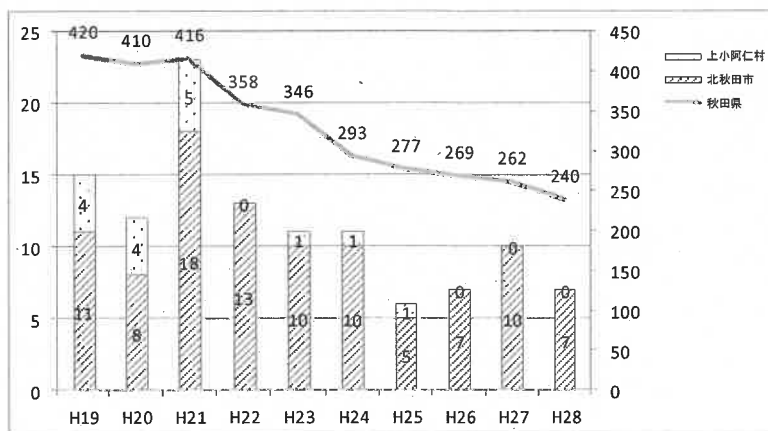
場所 北秋田地域振興局鷹巣阿仁福祉環境部会議室

参加者 22 名

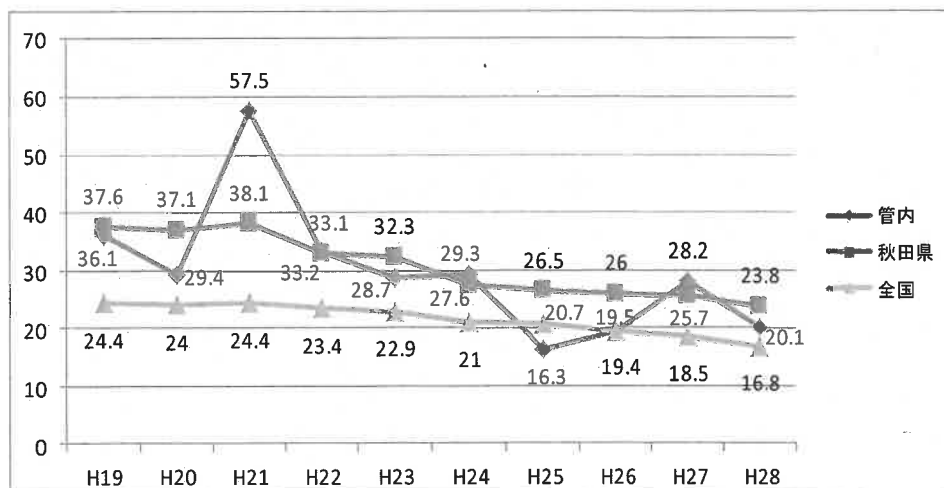
内容 行政説明 「秋田県及び管内の自殺の状況、自殺予防対策事業について」  
 「新たな自殺総合対策大綱について」  
 協議 「各機関における自殺予防関連事業について」  
 「管内の高齢女性の自殺予防対策について」

#### 【参考】管内の自殺の状況

※人口動態統計による平成 28 年の管内の自殺者数は 7 人（前年比 3 人減）となっている。  
 県全は減少にあるが管内は 10 人前後で推移している。



※平成 28 年の管内の自殺率（人口 10 万対）は、20.1（前年比 8.1 減）であり、県平均を下回っている。



（出典 秋田県における自殺の現状（健康推進課））

## 2 自殺未遂者支援対策

### (1) 自殺未遂者支援関係者会議

日 時 平成 29 年 10 月 27 日 (金) 13 : 30 ~ 15 : 00

場 所 北秋田地域振興局鷹巣阿仁福祉環境部会議室

出席者 6 名

内 容 議題「鷹巣阿仁福祉地域における支援体制について」  
「北秋田市消防本部で関わった事例について」

助言者 たかのす今村クリニック院長 今野 直樹 氏

### (2) 自殺未遂者支援関係者研修会

※今年度から県北の福祉環境部のうち 1 か所での開催

日 時 平成 29 年 10 月 2 日 (月) 13 : 30 ~ 16 : 15

場 所 北秋田市民ふれあいプラザコムコム 多目的ホール

出席者 47 名

内 容 講演「自殺未遂者支援における基本的対応について」

講師 青森県精神保健福祉センター所長 田中 治 氏

講演「自殺未遂者への相談・支援体制のあり方について」

講師 秋田大学保健管理センター所長 伏見 雅人 氏

### (3) 自殺未遂者及びその家族に対する相談支援

- ・心の相談への対応
- ・嘱託医による精神保健相談 (毎月第 4 金曜日)
- ・警察等からの情報提供に基づく相談への対応

(情報提供件数 H28 : 11 件、H29 : 5 件(12 月末))

## 3 自殺予防の普及啓発

### (1) 自殺予防街頭キャンペーン

自殺を予防するために、住民一人一人の自殺に対する関心を高め、地域における自殺予防の機運の醸成と定着を目的に自殺予防キャンペーンを実施した。

第 1 回目 日時 平成 29 年 9 月 8 日 (金) 10:00 ~ 11:10

場所 いとく鷹巣ショッピングセンター

第 2 回目 日時 平成 29 年 12 月 1 日 (金) 7:20 ~ 8:00

場所 JR 鷹ノ巣駅、内陸縦貫鉄道鷹巣駅前

### (2) 心とからだの健康展

北秋田市産業祭において「心とからだの健康展」を開催し、相談窓口やうつ病に関する知識の啓発を行った。

## I 健康寿命健やかシルバーライフの応援

高齢期における歯と口腔の健康状態の低下は、低栄養や誤嚥性肺炎の発症など全身の健康状態に大きく影響するという点について普及啓発を行い、口腔機能の維持・向上を図る取組を地域で連携して実施することにより、健康寿命を延伸につなげる。

### 1) あんしん在宅ケア推進事業（地域重点施策推進事業 平成27年度～29年度）

健康寿命日本一を目指すには、口腔機能の維持のため口腔ケア対策が重要になる。健やかな高齢期を過ごすために地域の課題、支援策などを地域の関係者が検討する機会として、在宅口腔ケア検討会を開催する。

また、関係機関等が在宅高齢者に対して指導時に使用するリーフレット等の健康教育用の媒体を作成し、在宅高齢者が自ら口腔ケアの行動ができるように取り組む。

#### ○在宅口腔ケア検討会

日時：平成30年3月1日 午後5時～6時30分（開催予定）

会場：北秋田保健所 大会議室

対象：歯科医師、高齢者施設の歯科衛生士、在宅介護担当者、  
行政職員（高齢者担当、保健担当）、県歯科医師、県歯科衛生士

内容：・北秋田地域の在宅高齢者口腔ケアの支援状況について  
・平成28年度県民歯科疾患実態調査について  
・口腔ケア指導の媒体について

（※平成30年度以降は地域歯科保健課題解決推進事業として継続実施を検討中。）

#### ○口腔ケア指導の媒体の作成

介護関連事業所等（68カ所）から活用媒体について情報収集し、関係機関の協力をうけて在宅高齢者向け健康教育用媒体を作成予定。

#### ○口腔ケア研修会の実施

日程：平成30年3月（開催予定）

対象：在宅高齢者（北秋田市及び上小阿仁村の希望による一地区）

内容：・高齢者口腔ケア指導（作成媒体の活用）  
・高齢者の口腔状態を重視した食事の工夫（レシピの展示等）

## II 生活習慣病改善に向け、市村、医師会と連携強化

### 1) かかりつけ医による健（検）診の受診勧奨事業の推進

かかりつけ医の協力をえて、40～69歳の慢性疾患で定期通院中の患者へ特定健診やがん検診の受診状況を確認し、受診勧奨（コール・リコール）することで受診率を向上させる。

かかりつけ医→秋田県健康推進課へ受診状況連絡票を送付してもらう。（平成30年1月末まで）  
結果は平成30年3月までに事業報告予定。

### 2) 糖尿病重症化対策の展開

○地域糖尿病重症化予防対策推進会議の開催

管内市町村の糖尿病重症化予防の取組を促進させるため、市町村の行う糖尿病重症化予防対策について評価・検証、糖尿病重症化対策の課題等を連携して検討した。

(共催：大館福祉環境部)

日時：平成29年11月9日(木)午後6時～7時40分

会場：北部老人福祉総合エリア（大館市十二所）

内容：① 秋田県糖尿病重症化予防プログラムの説明

- ・糖尿病が重症化すると患者のQOL低下及び医療保険の負担が増大する。
- ・患者は、市町村の枠を超えて受診するので、広域的な対応が必要になる。
- ・国保の保険者努力支援制度に糖尿病重症化予防の評価項目がある。

②市町村の実施状況

③意見交換

出席者：医師9名 市町村8名 秋田県健康推進課1名、福祉環境部9名 計27名

### ○地域・職域連携推進協議会

二次医療圏の地域保健と職域保健の関係機関等が、課題等を共有し、効果的な保健事業の展開のため連携を図り、質の高い保健サービスを継続的に提供できる体制を構築することを目的に開催する。今年度は糖尿病重症化予防対策をテーマとする。(共催：大館福祉環境部)

日時：平成30年2月21日(水) 開催予定

会場：北秋田地域振興局 会議室(北秋田市)

内容：①糖尿病の地域連携について

②情報と課題の共有 他

出席者：医師会、労働基準監督署、商工会・事業所関係、健診団体、市町村等

### Ⅲ その他（新規事業他）

#### 1) 健康づくり県民運動市町村巡回キャラバンの実施

県と市町村が今後10年で健康寿命日本一を目指して共働で県民運動を展開していくために市町村長から「あきた健康宣言」を発表した。

・北秋田市 平成29年11月28日

・上小阿仁村 平成29年10月18日



#### 2) がん患者医療用補正具助成事業

がん治療に伴う医療用補正具（ウィッグ又は乳房補正具）の購入費用の一部助成

助成額：ウィッグ 1万5千円 乳房補正具 1万円

申請者：16名(H29.12月末)

## I 廃棄物の発生抑制と適正処理の推進

「北秋田地域不法投棄一掃地域協議会」を組織し、市村、関係団体との連携を図るとともに、監視体制を強化し、廃棄物の不法投棄等不適正な処理の未然防止に努めます。

また、循環型社会の構築に必要なごみの減量化やリサイクルを推進し、『美しいふるさと北秋田』のさらなる実現に向けた普及啓発に努めます。

### 1 不法投棄の未然防止

(1) 不法投棄に対する啓発活動の一環としての撤去活動（美しいふるさと北秋田クリーンアップ）

<実施状況>

日時 平成 29 年 10 月 5 日（木）8：30～12：00

場所 北秋田市米内沢・桂瀬地区（長野沢林道・県道桂瀬笹館線沿い）  
上小阿仁村南沢地区（国道 285 号線横前橋付近、県道杉沢線沿い）  
北秋田市中屋敷地区（市道大沢・米畑線沿い）

参加者 50名（地域ボランティア、一般社団法人秋田県産業廃棄物協会県北支部、管内市村、北秋田警察署、北秋田地域振興局）

内容 撤去量 1,000kg

（可燃ごみ 150kg、不燃ごみ 170kg、金属くず 680kg）

廃テレビ 8 台、廃冷蔵庫 3 台、廃エアコン 1 台

廃タイヤ 16 本（大型 2 本、普通 14 本）

(2) 環境監視員による管内のパトロール

・年間監視日数 130 日、不法投棄発見箇所 30 箇所

(3) 不法投棄監視カメラ及び不法投棄禁止看板の設置

・監視カメラの設置期間 5 月中旬～11 月中旬、

・看板の設置箇所 24 箇所・31 本設置



### 2 ごみ減量・リサイクルの推進

事業系廃棄物の排出量が増加傾向にあることから、啓発用パンフレット等の活用により減量化への取組を推進します。



## II 食品の安全安心の確保

通常監視のほか、特別監視期間を設定し、食品取扱施設の監視・指導を強化するとともに、小規模事業者への HACCP 方式による衛生管理の導入に向けた取組を支援することで、秋田県産食品の安全・安心を確保し、信頼性の向上を図ります。

また、食品衛生講習会や手洗い教室を開催し、食品関係事業者や消費者等の食品衛生に対する意識の向上を図ります。

### 1 食品取扱施設（製造・販売施設、給食施設等）の監視・指導

#### (1) 監視・指導状況（平成 29 年 12 月末現在）

- ・監視件数 413 件（要許可施設 300 件、不要許可施設 113 件）
- ・指導件数 38 件（食品表示法関係 24 件、食品衛生法関係 8 件、健康増進法関係 6 件）
- ・収去検査 106 件（うち不適件数 1 件）

#### (2) 特別監視期間における監視・指導の強化

- ・食品安全安心月間（6 月）
- ・食品衛生月間（8 月）
- ・食品、添加物等の一斉取締り月間（夏期一斉取締り 7 月、年末一斉取締り 12 月）

### 2 HACCP 方式による衛生管理の推進

#### (1) 小規模事業者への HACCP 導入支援事業（振興局調整費執行事業）

- ・巡回指導回数：9 回 施設数：220 件・研修会開催回数：4 回 参加人数：100 名

#### (2) 秋田県版 HACCP 認証制度の普及促進

#### (3) 認証取得営業者に対する指導助言

#### (4) 科学的根拠に基づいた消費期限及び賞味期限設定の指導助言

#### ※秋田県版 HACCP（ハサップ）認証制度

食品衛生管理の国際標準である HACCP 方式を用いている衛生管理が、一定の基準を満たしていると認められる施設を、秋田県が認証する制度。平成 22 年度からスタートした。管内では、現在 3 事業者 4 施設が認証を取得している。

### 3 消費者等への普及啓発

#### (1) 食品衛生講習会の開催（平成 29 年 12 月末現在）

- ・開催回数 23 回（営業者対象 14 回、消費者対象 7 回、その他（保育園等）2 回）
- ・参加人数 438 人
- ・内 容 細菌、ウイルス等による食中毒の防止対策など

#### (2) 小学校での手洗い教室の開催

- ・開催校 8 校
- ・参加人数 175 人
- ・実施方法 北秋田食品衛生協会との共催
- ・内 容 ①手洗いマイスターによる正しい手洗いの伝授  
②測定器による手洗い前後の清浄度の比較



### Ⅲ 地域課題への取組（動物を通じた「いのち」を大切にせる事業）

閉鎖した旧秋田八幡平クマ牧場に残されたクマを受け入れ、平成26年7月にリニューアルオープンした北秋田市阿仁熊牧場「くまくま園」について、北秋田市、本庁生活衛生課と連携しながら、地域の小学生等を対象に「動物と『いのち』の学習会」を開催するなど、動物愛護思想の普及啓発を行うとともに、「くまくま園」の利活用推進を図ります。

#### 1 事業の概要

- ・対象 鷹巣阿仁福祉環境部管内小中学校
- ・実施期間 平成29年4月～平成30年2月
- ・実施場所 北秋田市阿仁熊牧場「くまくま園」及び  
打当温泉マタギの湯「マタギ資料館」
- ・実施内容 動物と「いのち」の学習会、クマのエサ作り、エサやり体験など
- ・実施方法 くまくま園までの移動は内陸線や貸切バス等を利用、入園料、運賃等の経費を負担



<阿仁マタギ駅到着>

#### 2 実績

##### (1) 「動物と『いのち』の学習会」の開催

- ・開催回数 4回（学習会：北秋田市管内4小学校参加）
- ・参加人数 126人
- ・実施内容 内陸線乗車体験、園長先生のクマ講座、クマの観察（エサやり体験、個体観察）  
くまくま園誕生生物語上映、マタギ学校体験など



<園長先生のクマ講座>



<ガラス越しのエサやり体験>



<運動場でのエサ隠し>

##### (2) クマのエサ作り

- ・協力校 6校（綴子小、前田小、合川小、米内沢小、大阿仁小、  
比内支援学校たかのす校）
- ・実施内容 協力校にサツマイモの苗を配布し、育ててもらった  
イモの一部を贈呈していただいた。



<サツマイモ収穫風景>

##### (3) エサやり体験学習

- ・参加校 1校（大阿仁小学校） ・参加人数 41名  
他の小学校から頂いたサツマイモを一緒に利用し実施

#### 3 今後の予定

- ・2月上旬北秋田市管内の小中学校等に対して、来年度の事業内容を説明予定。